

# 「高知市男女共同参画推進プラン2011」総括の概要

## 「プラン2011」の概要

### 「プラン2011」の期間

平成23年度～平成27年度の5年間

### 「プラン2011」の性格

- (1)「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」に基づき、市における男女共同参画に関する施策を計画的に推進する基本的な計画
- (2)「高知市男女共同参画推進プラン2006」の成果を引き継ぐ
- (3)「2011高知市総合計画」の部門別計画
- (4)市のあらゆる分野において男女共同参画を推進するための指針

### 「プラン2011」の特徴

- (1)評価対象事業の毎年選定
- (2)男女共同参画の視点の浸透
- (3)当年度評価
- (4)評価の公表

## 「プラン2011」の施策体系

施策の基本的方向	施策目標
<b>A 生きている</b> 生涯にわたる男女の健康づくり	男女の健康の維持・向上
	性と生殖に関する健康と権利の尊重
<b>B 認める</b> 男女の人権が尊重される社会づくり	男女平等の意識の浸透
	人権尊重を阻害する暴力の根絶
<b>C かかわる</b> 男女共生によるまちづくり	政策・方針等の決定過程への女性の参画
	男女共生によるまちづくりの推進
<b>D 支える</b> みんながいそいそと暮らす環境づくり	男女の多様な働き方・生き方を可能にするための環境整備
<b>E 高める</b> だれもが幸せに暮らすために	推進体制の充実

## 「プラン2011」の総括

### 評価指標の達成度

	評価指標	平成23年度 現状値	平成27年度 現状値	計画期間中 の目標	達成	内容
A 生きている	小・中学生の朝食摂取率	小学生 87.7% 中学生 69.0%	小学生 90.1% 中学生 80.5%	小学生 97.7%以上 中学生 79.0%以上	未達成	改善
	がん検診受診率	子宮がん 10.5% 乳がん 9.7%	子宮がん 20.8% 乳がん 16.2%	↑増加	達成	改善
B 認める	「社会通念・慣習・しきたり」などで男女の地位が「平等」と思う人の割合	13.9%	15.1%	50.0%	未達成	横ばい(改善)
	「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定的な役割分担意識に同意しない割合	31.7%	31.1%	50.0%	未達成	横ばい(悪化)
	DVを経験したことのある人の割合	27.0%	18.3%	10.0%	未達成	改善
	DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	53.0%	41.5%	0.0%	未達成	改善
C かかわる	市の審議会における女性委員をふくまない審議会数	24審議会/ 113審議会中	21審議会/ 120審議会	0	未達成	横ばい(改善)
	地区人権啓発推進委員会の女性委員の比率	35.0%	36.0%	40.0%	未達成	横ばい(改善)
D 支える	家事を全くしない男性の割合	30.4%	22.7%	↓減少	達成	改善
	性別による賃金格差や昇格等、さまざまな不当な扱い	—	11項目中 9項目削減	(21年度調査と比較して) ↓削減	達成	改善
E 高める	庁内における事業での男女共同参画の視点をふまえた事業実施率	—	94.7%	100.0%	未達成	高水準

※改善:目標達成には至らないが、数値の向上が見られるもの  
横ばい:平成23年度現状値と比較して変化が少ないもの  
高水準:目標達成には至らないが、高水準であるもの(新規設定)

### 【達成度の状況】

目標達成したものは少ないが、多くの評価指標が改善している。一方、主に平等意識や女性の社会参画に関する分野は横ばいであるため、今後も継続した取組が必要である。

### 事業評価

	事業名	担当課(H27)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	初年度との比較
A 生きている	思春期保健指導(性教育)の充実・促進	学校教育課	2.21	2.36	-	-	-	0.15p
	思春期保健指導(性教育)の充実・促進	母子保健課	2.21	2.09	-	-	-	▲0.12p
	子育て家庭訪問支援	母子保健課	-	-	2.58	3.25	3.08	0.50p
B 認める	男女平等教育の推進	学校教育課	-	-	2.17	2.25	2.58	0.41p
	DV等被害者への支援体制及び防止啓発	人権同和・男女共同参画課	2.17	2.45	2.58	2.67	2.42	0.25p
C かかわる	審議会等の女性委員構成比率向上の推進	人権同和・男女共同参画課	-	-	1.42	1.58	1.67	0.25p
	地域防災力の向上	地域防災推進課 防災政策課	1.56	2.45	3.00	2.92	2.58	1.02p
	安全安心まちづくり推進事業	地域コミュニティ推進課	1.56	1.91	-	-	-	0.35p
	男女共同参画推進企業表彰制度	人権同和・男女共同参画課	-	-	2.58	2.50	2.75	0.17p
D 支える	地域における子育て支援・子育て相談	子ども育成課	2.33	2.91	2.67	2.58	2.75	0.42p
	子育て環境の充実	保育幼稚園課	2.33	2.73	2.25	2.33	2.58	0.25p
E 高める	男女共同参画の視点の浸透	人権同和・男女共同参画課	2.00	2.64	2.42	2.00	2.42	0.42p

### ※「プラン2011」事業評価について

- (1)高知市が実施する男女共同参画の視点を踏まえた事業の中から、評価事業を毎年度選定
- (2)男女共同参画推進委員が評価事業を毎年度評価(1～4点)
- (3)各年度の数値は委員12名の評価点を平均したもの

※評価点の説明  
4…よくできた  
3…できた  
2…もう少し頑張れ  
1…頑張れ

### 【事業評価の状況】

多くの事業で評価が向上し、一定の成果があった。一方、審議会等の女性委員構成比率の向上等、評価が低い水準で推移する事業があり、より積極的な取組が必要である。

## 市民意識調査について

### ●「高知市男女共同参画に関する市民の意識調査」(平成26年度実施)分析結果から抜粋

- (1)男女の平等意識は高まってきているものの、一層の平等意識浸透への取組が必要。(※平成21・26年度県民意識調査の高知市分)
- (2)家庭における男女の役割分担は、理想に反して現実には女性への負担が大きいです。
- (3)女性が働き続けることへの理解が進む一方、「ワーク・ライフ・バランス」実現のための環境整備が求められている。
- (4)DV防止のために、更にDV防止啓発及び相談体制の強化・周知が必要である。
- (5)男女共同参画社会実現のためには、育児・介護サービスや人権教育の充実等、多方面からの取組が求められている。

## 全体のまとめ

- 1 評価指標については、目標を達成したものがある一方で、数値が改善しているものの目標達成に至らなかったものや、数値が横ばいのもも見られる。特に市民の意識に関すること(平等意識)や女性の社会参画についての分野は、今後の課題である。
- 2 「プラン2011」では、高知市の事業における男女共同参画の視点を明確にし、高知市男女共同参画推進委員会の評価に付し、事業の改善を図った。その結果、推進委員会の各事業に対する評価は多くの事業について向上し、一定の成果があった。一方で、政策・方針等決定過程への女性の参画の分野(審議会等の女性比率向上)については、一層の取組が必要である。
- 3 意識調査から、平等意識の高まりや女性が働き続けることへの理解が進む一方で、性別による固定的な役割分担意識が根強く存在していることが読み取れる。また、「ワーク・ライフ・バランス」の実現やDV防止対策の充実も重要な課題である。男女共同参画社会実現のためには、市に多方面からの取組が求められている。